



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 ぴあ

コード番号 4337 URL <http://corporate.pia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長

(氏名) 長島 靖弘

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	105,426	9.9	1,095	0.2	1,039	△6.3	877	△14.3
27年3月期第3四半期	95,890	△0.9	1,093	63.3	1,109	66.8	1,025	110.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 885百万円 (△15.5%) 27年3月期第3四半期 1,047百万円 (111.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	62.37	62.02
27年3月期第3四半期	72.84	72.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	32,072	6,920	21.4	488.07
27年3月期	31,553	6,211	19.5	437.50

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,859百万円 27年3月期 6,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	△0.1	1,200	△5.6	1,200	△6.6	1,000	△15.8	71.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	14,292,613 株	27年3月期	14,092,913 株
28年3月期3Q	152,337 株	27年3月期	22,500 株
28年3月期3Q	14,076,263 株	27年3月期3Q	14,070,423 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報等に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済をはじめとした海外景気の下振れリスクはあるものの、政府及び日銀の各種政策を背景に企業収益や雇用情勢が改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しており、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましても、引き続き底堅く推移しました。

このような状況下、新たな中期経営計画の初年度にあたる当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、音楽・スポーツジャンルを中心にチケット販売が好調に推移し、第3四半期連結累計期間としては過去最高の売上高を達成しております。特にチケット販売サービスでは、スポーツジャンル（野球・サッカー・大相撲）に加え、クラシック・演劇ジャンルでの販売が第3四半期では前期を上回るかたちで好調に推移しました。

以上の結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高1,054億26百万円（対前年同期比109.9%）、営業利益10億95百万円（同100.2%）、経常利益10億39百万円（同93.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億77百万円（同85.7%）となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「ROCK IN JAPAN FES. 2015」
 「Mr. Children」
 「嵐のワクワク学校 2015」
 「Animelo Summer Live 2015」
 「UVERworld」
 「ポルノグラフィティ」
 「ディズニー・オン・アイス」
 「Perfume」、 「CNBLUE」
 「Acid Black Cherry」
 「VAMPS」、 「back number」
 「COUNTDOWN JAPAN 15/16」

<商品>

「夏びあ」（首都圏版/関西版/東海版）
 「秋びあ」（首都圏版/関西版/東海版）
 「冬びあ」（首都圏版/関西版/東海版）
 「春夏秋冬びあ」（首都圏版/関西版/東海版）
 「食本」シリーズ（川口、武蔵小山、門前仲町、津松坂、吹田豊中、広島、北九州他）
 「羽生結弦語録」、「真田幸村びあ」

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、320億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億19百万円増加いたしました。流動資産は287億91百万円（前連結会計年度末比2億69百万円増）となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少（同5億16百万円）、受取手形及び売掛金の減少（同3億45百万円）、有価証券の増加（同10億円）であります。また、固定資産は32億81百万円（前連結会計年度末比2億50百万円増）となりました。

負債は、251億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億90百万円減少いたしました。流動負債は244億58百万円（前連結会計年度末比1億29百万円減）となりました。変動の主なものは、買掛金の減少（同3億73百万円）であります。固定負債は6億93百万円（前連結会計年度末比60百万円減）となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少（同40百万円）であります。

純資産は、69億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億9百万円増加いたしました。これは、主に配当金2億11百万円の支払による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益8億77百万円の計上等により利益剰余金が6億66百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（税金費用の計算方法の変更）

税金費用については、従来、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、一部の連結子会社を除き第1四半期連結会計期間より、年度決算で見込まれる税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。この変更は、各四半期の利益に対応した税金費用を計上するとともに、当社の四半期決算業務の一層の効率化を図り、四半期決算における迅速性に対応するためであります。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,120,838	12,604,416
受取手形及び売掛金	13,695,050	13,349,268
有価証券	—	1,000,000
商品及び製品	135,146	130,322
仕掛品	1,597	985
原材料及び貯蔵品	4,533	5,126
その他	1,613,151	1,747,828
貸倒引当金	△48,389	△46,940
流動資産合計	28,521,929	28,791,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,180	82,168
工具、器具及び備品(純額)	150,569	269,131
土地	6,240	6,240
その他(純額)	54,110	55,771
有形固定資産合計	301,099	413,311
無形固定資産		
ソフトウェア	1,144,721	1,183,445
ソフトウェア仮勘定	51,435	112,711
その他	59,499	59,459
無形固定資産合計	1,255,656	1,355,617
投資その他の資産		
投資有価証券	890,320	920,038
その他	914,491	911,834
貸倒引当金	△330,038	△319,249
投資その他の資産合計	1,474,773	1,512,623
固定資産合計	3,031,529	3,281,551
資産合計	31,553,459	32,072,559

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,199,799	20,826,271
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	162,000	80,000
未払金	852,339	858,808
未払法人税等	132,853	111,824
賞与引当金	269,709	4,524
返品調整引当金	346,000	294,000
その他	1,525,429	2,183,153
流動負債合計	24,588,131	24,458,583
固定負債		
長期借入金	120,000	80,000
退職給付に係る負債	93,032	101,566
資産除去債務	62,212	62,788
その他	478,572	448,647
固定負債合計	753,817	693,002
負債合計	25,341,948	25,151,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,407,336
資本剰余金	402,670	570,848
利益剰余金	1,619,233	2,286,143
自己株式	△61,401	△361,314
株主資本合計	6,199,661	6,903,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,737	25,296
為替換算調整勘定	△18,257	△20,513
退職給付に係る調整累計額	△58,289	△48,063
その他の包括利益累計額合計	△43,810	△43,280
新株予約権	3,142	1,882
非支配株主持分	52,517	59,356
純資産合計	6,211,510	6,920,973
負債純資産合計	31,553,459	32,072,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	95,890,146	105,426,864
売上原価	87,778,232	97,020,077
売上総利益	8,111,914	8,406,786
返品調整引当金戻入額	311,000	346,000
返品調整引当金繰入額	253,000	294,000
差引売上総利益	8,169,914	8,458,786
販売費及び一般管理費	7,075,932	7,362,984
営業利益	1,093,981	1,095,802
営業外収益		
受取利息	1,385	1,579
受取配当金	5,840	6,734
持分法による投資利益	20,695	—
その他	3,225	3,050
営業外収益合計	31,146	11,364
営業外費用		
支払利息	12,741	7,965
持分法による投資損失	—	56,944
その他	3,037	2,957
営業外費用合計	15,778	67,868
経常利益	1,109,349	1,039,298
特別利益		
投資有価証券売却益	34,681	7,249
特別利益合計	34,681	7,249
特別損失		
減損損失	—	7,174
関係会社株式評価損	29,999	—
特別損失合計	29,999	7,174
税金等調整前四半期純利益	1,114,031	1,039,374
法人税等	83,259	154,569
四半期純利益	1,030,771	884,805
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,766	6,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,025,004	877,966

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,030,771	884,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,082	△7,440
為替換算調整勘定	143	△3
退職給付に係る調整額	10,879	10,226
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2,252
その他の包括利益合計	17,104	530
四半期包括利益	1,047,876	885,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,042,109	878,496
非支配株主に係る四半期包括利益	5,766	6,839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。